

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

- ・期待レベルが「基本」の項目(黄色マーク項目)は、必須記載項目です。
- ・期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

【基本的な事項】

様式第3号

| カテゴリ | チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】 | 期待レベル | ・環境 ・社会 ・経済 | 具体的な取組 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|-------|---|-------|-------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 人権・労働 | 【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している | 基本 | 社会 | ・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築している。 | | | | | ○ | | ○ | | ○ | | | | | | ○ | | |
| | 【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている | 基本 | 社会 | ・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記 | | | | | ○ | | ○ | | | | | | | | ○ | | |
| | 【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない | 基本 | 社会 | ・長時間労働の是正の為の労働生産性の改善、労働時間管理体制、多様な働き方を許容する勤務体制の整備・対応を行っている | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| | 【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している | 基本 | 社会 | ・現状は該当ないか知識の習得を目指す | | | | ○ | | | ○ | | ○ | | | | | | | | |
| | 【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている | 基本 | 社会 | ・社内での衛生管理の徹底 | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| | 【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している | 基本 | 社会 | ・メンタルヘルスに関する方針と計画の策定 ・メンタルヘルスに対応した保険の整備 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている | 基本 | 社会 | ・障害者や高齢者をそれぞれの勤務体制で無理のない雇用 | | | | ○ | | ○ | | ○ | | | | | | | | | |
| | 【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる | 応用 | 社会 | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| | 【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している | 応用 | 社会・経済 | 有料のe-ラーニングコンテンツの提供 | | | ○ | | | | ○ | | ○ | | | | | | | | |
| | 【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている | 応用 | 社会・経済 | | | | | | | ○ | | ○ | | | | | | | | | |
| 11 | 【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている | 基本 | 環境 | ・社内の廃棄物の種類や量などを現状を把握し、細かく分別し自社で処理場まで持ち込む | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|---|----|-------|---|--|---|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 12 | 【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている | 基本 | 環境 | ・社内での節電を心掛ける ・社有車、スタッフの自動車は地球環境に優しい車にする | | | | | ○ | | | | ○ | | | | |
| 13 | 【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている | 基本 | 環境 | ・取引先のツールを使用しCO2の排出量を見える化し取組み効果を検証 | | | | | ○ | | | | ○ | ○ | | | |
| 14 | 【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている | 基本 | 環境 | ・弊社の業務には当てはまらないが知識の習得を目指す | | ○ | | ○ | | | | ○ | ○ | | | | |
| 15 | 【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している | 基本 | 環境 | ・環境に配慮し廃棄物など管理の徹底 ・取引先にも協力を仰ぎDXを推進しペーパーレス化を図る | | | | ○ | | | | | | | ○ | | |
| 環境 | 【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている | 応用 | 環境 | | | | | | ○ | | | | | | | | |
| | 【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している | 応用 | 環境 | | | ○ | | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している | 応用 | 環境 | | | | | | | | | | ○ | | | | |
| | 【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている | 応用 | 環境 | | | | | | ○ | | | | | ○ | | | |
| | 【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている | 応用 | 環境 | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている | 応用 | 環境 | | | | | | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している | 基本 | 社会 | ・行動規範の整備と社内研修を行う | | | | | | | | | | | | | ○ |
| | 【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している | 基本 | 社会 | ・不正競争行為を含む行動規範の整備と社内研修 | | | | | | | | | | | | | ○ |
| | 【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている | 基本 | 社会 | ・知的財産について社内で勉強し知識を習得する | | | | | | ○ | ○ | | | | | | |
| | 【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している | 基本 | 社会 | ・「個人情報に対する基本方針」を定めて公表するとともに体制を整備している ・社内研修を行い情報管理ルールの周知徹底を図る | | | | | | | | | | | | | ○ |
| 公正な 事業慣行 | 【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している | 応用 | 社会 | | | | | | | | | | | | | | ○ |
| | 【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している | 応用 | 社会 | | | | | | ○ | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している | 基本 | 経済 | ・顧客に合った商品の提供を心掛ける | | ○ | | | | | | | | ○ | | | |
| | 【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している | 基本 | 経済 | ・顧客からの声を「お客様の声」に記録し社内共有をはかる | | | | | | | ○ | | | | | | |
| | 【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている | 応用 | 経済、環境 | | | | | | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 製品・ サービス | 【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している | 基本 | 経済 | ・顧客に合った商品の提供を心掛ける | | ○ | | | | | | ○ | | | | | |
| | 【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している | 基本 | 経済 | ・顧客からの声を「お客様の声」に記録し社内共有をはかる | | | | | ○ | | | | | | | | |
| 30 | 【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている | 応用 | 経済、環境 | | | | | | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | |

【記載留意事項】

- ・「期待レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
 - ・「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合には、「具体的な取組」欄に、【非該当】と記載し、あわせて、その理由を記載してください。
 - ・「具体的な取組」には、チェック項目に関する具体的な取組を記載してください。また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
 - ・山梨県として力を入れている項目は、「山梨県総合計画（2021年改定版）」に掲載していますので、関連する「具体的な取組」がある場合は、記載してください。また、山梨県が取り組むSDGsに関する内容（水素・燃料電池、4パーセント・イニシアチブ、アニマルウェルフェアなど）を活用している場合も併せて記載してください。（次項の【その他独自に行っていいる取組】も同様。）

【その他独自に行っている取組】